

エピソード19 手伝いましょうか

ある日、ある子が少し早く学校に着いてしまいました。事情があつてのことです。まだ校舎内には入れません。

昇降口前で、一人で待っていたその子は校庭でラインを引くための**作業**をしている先生たちに気づきます。

そして先生のそばに行って「**何か手伝いましょうか**」と言っていました。手伝うことがあったかどうかはさておき、この気持ちがうれしいですね。